

(キーパーソン) 吉井茂人氏 (長浜まちづくり株式会社)



吉井氏は、昭和48年に長浜商工会議所に入所し、今日まで40年以上長浜のまちづくりに主体的に携わっている。

まちの方向性を示す計画策定や販わり創出事業を仕掛けるなど、まちの調整役に徹し、地域の人々から絶大の信頼を得ており、長浜のまちづくりには欠かせない存在である。現在は長浜まちづくり株式会社で中心市街地活性化事業等に関わっている。

【キーパーソンについて】

1. まちづくりを行うきっかけ

商工会議所での仕事

長浜商工会議所の職員として、まちづくり会議の委員会メンバーの選定等の調整役を担っており、そこから様々な立場の方と関わり、まちづくりを行っていくこととなった。

2. 活動の目的

- ・地域を元気に
- ・他のまちに負けない

郊外開発が進み、大型店の出店申請等で中心市街地が衰退してなくなってしまうという危機感が生まれ、中心市街を活性化させることで地域を元気にし、他のまちに負けないまちづくりをしていくことを目的としている。近年は販わりを持続させることと商店街の回遊性の向上を目指して活動している。

3. 他団体との連携方法

情報窓口の一元化

長浜まちづくり株式会社がまちづくり関係団体や民間企業と連携をとり、情報の集約を行っている。連携をとるにはとにかく親しくなることが必要で、日ごろの雑談や会話を重ねることで信頼関係を築いていく。

4. 行政との連携方法

普段からの会話

他の団体や行政に関わらず、会話をして親しくなることが大切である。

何も用がなくとも行政の関係窓口に飛び込みで行き、ただ雑談するだけという行為を何度も繰り返していくと自然と関係が築かれる。

また、行政からの依頼はどんなものでも断らないようにしていると、いつか自分に還元されるようになるものである。

まちづくりについて

1. まちづくりのきっかけ

中心市街地衰退の危機感

昭和54年に大型店舗の郊外出店申請が出て、中心市街地の商店主が危機感を抱いていた。

そこへ地域住民の寄付により長浜城の復元を行ったことを機に、まち全体が盛り上がり、まちづくりへのエネルギーとなっていった。

現在の長浜のまちになるまで30年を要している。

2. まず始めたこと

共有されたまちの方向性の決定

商店街、商工会議所、市が一体となり、商業振興と中心市街地活性化を目指す方向を決定した。

垂直型思考から水平型思考に変え、事業実施に向けた仕掛け事業を継続して行うことでまちの人達に理解され、その後の事業実施につながった。

3. 参考にしたまち

ガラス工芸のまち

ヨーロッパに行って、ガラスには女性が集まり、女性が来るところには男性も同伴しており、日本でもマイナーな世界だったため、長浜には縁のなかったガラスを始めることとなった。

始めるに当たり、日本でガラス作りを行っていた北海道小樽市、ガラスの里がある広島県に視察に行った。

4. 反対者の対処方法

対話を重ねる

反対者が現れても労を惜しまず、すぐ動くようにし、対話を重ねることで徐々に理解が得られる。

事業を行う上では敵を作らないことが大切で、たとえ意見が合わない相手が現れても、事業を成し遂げるために上手く付き合うようにする。

5. まちづくりを行う上での肝

強い意志を持った人の存在

まちづくりに重要なのは、事業の企画力があり、それを実行する強い意志を持った人がいること。

また、迅速に実行していくには様々な分野の人々と連携し、互いに信頼関係を築くことが大切であり、それにはやはり日々の対話を重ねていくことが必要である。

6. 結果を出すために実施したこと

- 拠点施設の分散
- 継続した事業提案

拠点施設を地区内に分散させ、回遊性を向上させた。

まちは絶えず変化していくことが必要で、まちづくりに成功したからといってやめることなく事業提案し、継続してまちづくりを行っていくことが大切である。



3人いればまとまる

議論・検討を行ない、話を進めるには1人よりも3人仲間がいれば強い。（1本の矢よりも3本の矢）

メンバーを変化させる

ワークショップ等グループで会議を行う際は、常に固定のメンバーで話をせず、半分は固定、もう半分はメンバーを入れ替えて新しい人を入れながら進めていき、会議を楽しくする。

女性を入れる

女性は女性ならではの感性を持っており、違う視点からの意見が出てくる。

また、決断力もあるため、停滞している会議などでは一言で話が進んでいくこともある。

座長には信頼があり、人の意見を聞ける人を

座長は頭の良い人ではなく、信頼があり、人の意見を聞ける人を選定する。

頭の良い人は、自分の思っている意見の方にまとめがちなため、みんなの意見を聞いて公平にまとめられる人物がよい。

ただ、頭が良く、知識と経験豊富な人は会議において重要である。

中にはその場で意見を出せない人もいるので、そういった人に気付き、後から話を聞くなどして、次の会議にその意見を代弁または引き出すことができるような人物が適任である。

内容を書き出す

会議の内容はホワイトボードに書き出し、遅れてきた人でも内容を把握できるようにする。

遅れてきた人は話を元に戻して会議を長引かせるようなことがあったが、それまでの内容を見せ、そのことは既に決定していると示すことで後戻りを防止することができる。

まちなみについて

1. 来訪者

平成元年から徐々に増加し、平成13年には200万人を超える人が訪れ、その後も増加していたが、現在は徐々に減少しつつある。

NHKの大河ドラマの舞台にもなったことから、テレビを見て訪れる人も多くいる。

2. その他

商店街のアーケードを撤去して大通寺というお寺を望めるようにしたり，電線の地中化を行わずとも，敷地内に電柱を設置することで商店街がスッキリと見渡せる。
また，駐車場の入口もファサード整備し，周囲の景観と調和している。

その後の活動

1. 継続活動

イベントをただ継続させて実施させるだけでなく，突飛な発想のイベントを行ったり，若い人のアイデアで自由にやらせてみたりして，常に変化を加えながら実施していくことでマンネリ化を防ぎ，発展しながら継続させることができる。

その他

1. 今後の課題と展望

- ・空家対策
- ・まちづくりの継続

まちづくりに成功しても空き家はたくさんあり，現在はシェアハウスとして利用してもらうなど，新たな事業を行っている。

まちづくりを継続するために，各事業において常に変化を行いながら進めていく。

表参道商店街



ゆうき番街



駐車場ファサード整備



1. 地域住民との合意形成を図る際の進め方

地域住民発意

地域住民からの発案でまちづくりを行っており、意見をまとめてもらっていた代表者等と調整して進めている。

まちづくりについて

1. 取り組み前の課題

シャッター通りと なった商店街

車社会時代に拍車がかかり、生活機能が郊外に移転していくにつれ、商店街の空き家・空き店舗が200軒以上となり、商店街がシャッター通りと化していた。

2. 行政の役割

・情報提供 ・補助金

まちづくりに関する情報提供やまちなみ修景や活性化にかかる補助金を交付している。

補助金に関してのお知らせはホームページや広報を通じて行うが、商店街の間の口コミも情報の伝播に大きな役割を果たしている。

3. まちの整備内容

・駐車場整備 ・舗装石畳化 ・アーケード整備

まちなみに溶け込んだ駐車場の入口



平面駐車場の入口もファサード整備し、まちなみを統一している

4. まちづくりで活用した補助事業

- ・街なみ環境整備事業(国土交通省)
- ・まちづくり交付金事業(国土交通省)
- ・中心市街地活性化事業(経済産業省) 等

ワークショップについて

1. 行政の役割

情報の共有

まちづくり団体が行うワークショップに参加させてもらい、現在の状況や動きを把握して、情報を共有している。

2. アドバイザー、ファシリテーターの情報提供

行っていない

行政としてアドバイザー等の情報提供は行っていないが、商工会議所等まちづくり団体の中に強いパイプを持った人物がおり、そういった方々によってアドバイザーを招いてワークショップが行われている。

その後の活動

1. フォローアップ内容

まちなみ維持のための各種補助メニューの提供

まちの統一感、美しさを維持していくために補助金制度を設けている。

- 【歴史的建造物の保存】
長浜市歴史的建造物保存活用事業
- 【水辺の景観づくりや緑の維持等】
長浜市美しい観光地づくり推進事業
- 【まちの景観の統一（ファサード整備等）】
長浜市伝統的街並み景観形成事業

1. 整備後のPR方法

- ・ホームページ
- ・広報紙

行政としてのPRは、市のホームページや広報紙への掲載である。

観光客の増加はこれらのPRというよりメディアに取り上げてもらったことによるものが大きい。



その他

1. 活動地域のPRポイント

黒壁

第3セクターで設立された黒壁が、空き店舗への出店、新たな地域産業（ガラス）の創出等で長浜のまちづくりを牽引していったことから、長浜のまちづくりは黒壁抜きでは語れない。

2. 「まちづくり」を所管する部署

ハード:都市計画課
ソフト:商工振興課

主としてハード部分は都市計画課が、ソフト部分は商工振興課が所管しており、必要に応じて連携をとりながらまちづくりを進めている。

3. その他

商店街には回遊性と賑わいが大切であり、多くの場所を回ってみたいくなるような魅力的なスポットが散らばっていると良い。

